

令和元年8月13日（火）
国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所

記者発表資料

雨畑ダム定期検査結果に対する対応について

日本軽金属（株）が管理する雨畑ダムは、国土交通省が水利権許可している施設です。この度、関東地方整備局長から雨畑ダム定期検査の結果が通知されたことを受け、甲府河川国道事務所では、雨畑ダム上流部の堆砂により河床が上昇し、洪水被害の恐れがあることから、日本軽金属（株）に対して、抜本的な解決に向けて堆砂対策に重点を置いた計画をとりまとめ、報告するよう通知しました。

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
山梨県政記者クラブ 静岡県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

| | | |
|---------|-------|-----------------------|
| 副所長（河川） | 金子 隆信 | Tel. 055-252-5491（代表） |
| 河川管理課長 | 櫛原 賢二 | Tel. 055-252-8888（直通） |

【雨畑ダム概要】

○場 所：山梨県南巨摩郡早川町

○ダム形式：片側越流型コンクリートアーチダム

○ダム完成年月：昭和42年2月

○ダム高：80.50m

○堤頂長：147.582m

○集水面積：99.7 km²

○湛水面積：0.586 km²

○総貯水容量：13,650千 m³



国関整甲河管第13号
令和元年 8月 9日

日本軽金属(株)
蒲原製造所長 様

国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所長



雨畑ダム定期検査結果に対する対応について

関東地方整備局長から令和元年8月9日付け国関整河管第13号「令和元年度利水ダム定期検査の結果について」が通知されたところである。

雨畑ダムに関しては、「堆砂により上流部の河床が上昇しており、洪水被害の恐れがある」としてダム施設及び貯水池の状態の総合判定はAとなり、今回で4回連続となった。

更に、堆砂による上流部の河床が上昇していることから、洪水被害が発生している状況である。

土砂撤去等の対策を講じていると聞いているが、今後は、抜本的な解決に向けて堆砂対策に重点を置き、令和元年度利水ダム定期検査結果の指摘事項に基づき堆砂対策の計画をとりまとめ報告すること。

○定期検査での指摘事項

- ・堆砂対策が行われているものの、堆砂量が確実に減るように対策の強化・改善を検討すること。
- ・堆砂の抜本的な解決に向け、堆砂対策の計画をとりまとめ、計画的に取組をすすめること。
- ・変形等の異常は見られないものの堆砂量が堆砂容量を超過しているため、ダム堤体への影響などについて検討すること。